

講演「未来の命を守るために」



250人余の方が参加した講演会・協議会



ホームページURL <http://www.niigatacity-pta.jp/>

新潟市

P T A

第27号

平成28年 3月
新潟市小中学校
PTA連合会
新潟市中央区
幸西3-3-1
じよいあす新潟会館

新潟市PTA交流会開催

「新潟市PTA交流会」が、去る二月六日(土)午後二時より、ANAクラウンプラザホテル新潟を会場に開催されました。

開会式では、大宮会長の挨拶の後、平成二十七年年度市P連研究大会中央区大会の主管を務めた有明台小学校PTA(秋山幸俊会長)の表彰と第三十七回全国小中学校PTA広報紙コンクールに新潟市代表として応募した十校のPTA広報紙の表彰が行われました。引き続き、第一部「講演会とグループ協議」が二五九人の参加者で開催されました。

講演では、小さな命の命をを考える会代表の佐藤敏郎講師から東日本大震災から五年を迎えようとしても、今なお癒えることのない悲しみ、涙なしには聞けない話と、それでも前へ進もうとする当時の中学生の俳句をまじえた感動の講演を拝聴しました。その後、一時間のグループ協議で各単PTAの地域と連携した取組や今年の反省点・改善点などを熱心に討議していただきました。

第二部「懇親会」は二〇二人の参加者で会場が和やかな雰囲気、笑顔であふれ、この一年間の苦勞や喜びを交流しました。

新潟市小中学校PTA連合会の全体としての二十七年年度の最後の事業が終わり、当日の大宮一真市P連会長のあいさつの概要は、以下の通りです。

日頃より、市P連の活動にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。また、お忙しい中、新潟市小中学校校長会から役員の方々をはじめ、多数ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、「小さな命をを考える会」代表佐藤敏郎様からご講演をいただきます。貴重なお話を聴けることを楽しみにしております。宜しくお願致します。せっかくの機会ですので、現在の新潟市P連についてお話をさせていただきます。

六月の総会時に研修会として行いました「学校・PTA連携緊急対応」については、校長会の先生方と年に数回会議を持ちました。来年度の総会時の研修会で、新バージョンを含んで示したいと思えます。

また、市P連のこれからの見据えて組織の見直しを前回理事会で提案させていただきました。理事会の他に、委員会組織を作り、様々な意見を取り入れられるものにしていきたいと思います。

平成三十年八月二十四日・二十五日の「第六十六回日本PTA全国大会新潟大会」の県P連との共催が決定いたしました。新潟市P連は二つの分科会を担当します。今年度中に実行委員会を立ち上げる段取りとなっております。

最後になりましたが、年度の終わりのこの会が皆様にとって有意義な会になることを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



「白熱したグループ協議会
楽しく交流を深めた」



「グループ協議会の話題について」

〈地域連携の取組〉

- ・ PTAと地域の関りは、パートナーシップ事業で。
 - ・ 春に田植え、秋に収穫、冬に餅つき。
 - ・ 文化祭で地域の人を呼んで活動。
 - ・ 年一回、校舎周りの環境整備。
 - ・ ふれあい教室、講師は地域のお年寄りのボランティアが多い。
 - ・ 親子、地域でビオトープ活動。
 - ・ 運動会、防災訓練に校区、地域の人たちも参加。
 - ・ 放課後スクールは地域ボランティアがメインで活動。
 - ・ 地域団体の高齢化から次世代育成を兼ねて、PTAが地域と一緒に活動。
 - ・ ウォーキングをスポーツ振興会、日赤、PTA、コミ協で実施。
 - ・ 世代間交流広場の実施。
 - ・ おやじの会、地域コーディネーター中心の活動が盛ん。
 - ・ ふれあいスクール事業が地域と連携、スポーツ関連は地域の参加が多い。
 - ・ グリーンボランティア、マラソン大会の草取り、文化祭前ガラス拭きなど。
 - ・ 総合学習で地域と交流。
 - ・ 防災訓練、交通安全指導をコミ協と一緒にやる。
- 〈年間活動の振り返り、反省・問題点など〉
- ・ ふれあいスクールのスタッフの高齢化により、ボランティアがいらない。
 - ・ 地区運動会が盛大で伝統だが、地域の方の意見が聞きたい。
- ・ 役員が総入れ替えした。任期は三年だが、引継ぎがもつとしっかりしていればと思う。

- ・ スマホはじめが保護者同士でもある。
- ・ 行事をPTAの役員に丸投げでなく、地域と一緒にやる。
- ・ お父さんボランティアの参加がもつと欲しい。
- ・ 新しいことをやることに対する負担、保護者の反発がある。
- ・ 不審者の情報が下りてこない。
- ・ 防災訓練の形骸化、人ごと感が抜けない。
- ・ 不特定の地域から登校して来る特異性から、保護者に地域との連携の必要性が浸透していない。
- ・ 地域防災活動の効果的な実施方法と防災意識と危機管理の向上。
- ・ PTA活動のパンフレットを作り配布。
- ・ 三役の任期を終えてもやめられない。
- ・ 学校を超えての連携があると助かる。

「第三十七回全国小中学校PTA

広報紙コンクール

○ 新潟市コンクールの成績

（小学校の部）

- ・ 最優秀賞 西蒲区和納小「のぞみ」
 - ・ 優秀賞 中央区新潟小「にいがた」
 - ・ 奨励賞 西区坂井輪小「さかいわ」
 - ・ 同 西区坂井東小「ふれあい」
 - ・ 同 東区東山の下小「しらすぎ」
 - ・ 同 中央区上所小「PTAだより」
- ##### （中学校の部）
- ・ 最優秀賞 中央区山湯中「やまなみ」
 - ・ 優秀賞 秋葉区新津第一中「白楊」
 - ・ 奨励賞 西区坂井輪中

「MIDORIGAOKA」

同

西区五十嵐中「薫風」

※ なお、全国コンクールではいずれの学校も奨励賞でした。

小中学生総合補償制度

- 元気づげるから心配。そんな親心を支えます。
- お子様の24時間を補償します。

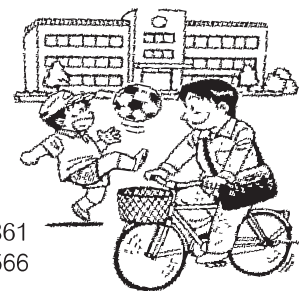
詳しい内容につきましては、下記までご連絡をお願いします。

引受幹事代理店：有限会社 新潟コーリン

TEL(025)280-0361

非幹事代理店：有限会社 保険サービスあんしん21

TEL(0250)-23-5566



幹事引受保険会社

共栄火災海上保険株式会社

新潟支社 〒951-8116新潟市中央区東中通1番町86番地16
TEL(025)229-0512

非幹事引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

新潟支店 営業課 TEL(025)241-4105

各区P連の活動 平成二十七年度を振り返って

【北区】

- 研究大会
- ・ 期日 十一月二十一日(土) 午後
- ・ 会場 北区文化会館
- ・ 主題 「見直そう食の力」
↳こはんが子どもを変える」
- ・ 形式 講演会
- ・ 講師 教育・食育アドバイザー
大塚 貢 様
- ・ 参加者 約二〇〇名
- 区P連事業についての反省
今年度の区P連研究大会は、北区教育支援センターと共催で行った。講師の人選等、教育支援センターからやっていただき、費用の面でも大変運営がやりやすかった。来年度も引き続きこの方向で行う予定でいる。

【東区】

- 研究大会
- ・ 期日 九月二十六日(土) 午後
- ・ 会場 東区プラザ二階ホール
- ・ 主題 選手と共に闘った日々
- ・ 形式 講演会
- ・ 講師 開志国際高等学校
教頭 富樫 英樹 様
- ・ 参加者 約二〇〇名
- 区P連事業についての反省
講演では、部活動での生徒の「心」の育て方や、子育てについて実体験を語ってもらった。全国大会で優勝した時の試合の映像を交えながらの講演だったため、目からも耳からも感動の伝わる講演会で、参加者にも好評だった。

【中央区】

- 研究大会
- ・ 期日 十月十七日(土) 午後
- ・ 会場 朱鷺メッセ マリンホール
- ・ 主題 『育もう 地域の宝』
↳子どもたちが自分と地域に誇りをもつて育つていくために」
- ・ 形式 実践発表・講演会
- ・ 講師 作家 石川 結貴 様
- ・ 参加者 四三四名
- 区P連事業についての反省
市P連研究大会を主管させていただき、無事に終えることができ、ホッとしている。中央区P連の皆様、特に担当校を務めていただいた、有明台小学校のPTA役員の皆様のおかげだと感謝している。

【江南区】

- 研究大会
- ・ 期日 十一月三日(火) 午後
- ・ 会場 江南区文化会館
- ・ 主題 「高橋なんぐのお笑い授業」
↳見方を変えれば味方になる」
- ・ 形式 講演会
- ・ 講師 お笑い集団N.A.M.A.R.A
高橋 なんぐ 様
- ・ 参加者 約二四〇名
- 区P連事業についての反省
五月の総会、六月の懇親会、十一月の講演会と各事業を通し、各単P会長・事務局との結束をさらに高めることができた。

【秋葉区】

- 研究大会

- ・ 期日 十二月五日(土) 午後
- ・ 会場 新潟薬科大学
- ・ 主題 よりよい子育ての在り方
↳子どものほめ方・叱り方」
- ・ 形式 講演会
- ・ 講師 新潟青陵大学大学院
教授 碓井 真史 様
- ・ 参加者 約二〇〇名
- 区P連事業についての反省
前年度のうちに引継ぎがしっかりとなされていなかったため、取り掛かりが遅くなったが、担当中学校区PTA役員の皆様のご協力のおかげで、無事に研究大会を終えることができ、講演内容もとても良かった。

【南区】

- 区P連大会
- ・ 期日 十一月七日(土) 午後
- ・ 会場 白根カルチャーセンター
- ・ 主題 南区PTA会員の交流の機会を設け、親睦を図る
- ・ 形式 フロアカーリング・懇親会
- ・ 講師 南区体育指導員 八名
- ・ 参加者 九十五名
- 区P連事業についての反省
春の総会では、各単P役員が南区の実情を知り、情報交換を行うことができ、とても有意義だった。研究大会では講演会等を行っている区P連が多いが、フロアカーリング大会は、交流と親睦を深めることがねらいであり、南区の特色ある活動と自負している。次年度以降も継続させていきたい。

【西区】

- 研究大会
- ・ 期日 十一月二十一日(土) 午後
- ・ 会場 日本文理高校

- ・ 主題 親子と地域の絆を結ぶ
「スポーツ鬼ごっこ」
- ・ 形式 パネルディスカッション
- ・ 講師 スポーツ大会
スポーツ協会
審判員の皆様
- ・ 参加者 約一八〇名
- 区P連事業についての反省
今年度の事業は、理事会の協議に基づき、計画的円滑に実施された。スポーツ鬼ごっこは、大人から子どもまで楽しめる競技で、大いに盛り上がり好評だった。毎年、参加者の確保が大きな関心事になっている。研究大会として意義があり、参加者の興味や関心に応えられるような企画を検討していきたい。

【西蒲区】

- 研究大会
- ・ 期日 九月十二日(土) 午後
- ・ 会場 巻地区公民館
- ・ 主題 子どもものやる気を引き出す
- ・ 形式 体験セミナー
- ・ 講師 魔法の質問認定講師
浅香 美鈴 様
- ・ 参加者 約一六〇名
- 区P連事業についての反省
体験セミナーのテーマが魅力的だったため、予定を超える参加者で、当日は会場が満員になった。前年度より準備を進めていたため、非常にスムーズに運営することができた。内容的にも子どもものやる気だけでなく、大人のやる気も引き出すような質問を沢山教えていただき、満足のいく内容だった。

「区P連運営全般の反省と市P連への要望」

- ・来年度の市P研究会大会江南区大会に向け、準備会を実施し、市P連本部からの助言をいただきながら、江南区P連が一丸となって大会を成功に導きたいと思う。
- ・南区は中学校を中心とした四つのブロックが、ローテーションを組んで研究会大会を運営したり、研修会に参加したりしている。各ブロックで小中学校が連携して円滑に活動できているので、事務局としてとても助かった。また、ブロックを超えての情報交換が活発に行われ、とてもプラスになった。
- ・今年度会長校は家庭数四〇名の小さな学校だったが、他校の方々からのご協力のおかげで、滞りなく事業を行うことができた。
- ・各幹事校との連絡はメールで行った。しっかりと連絡調整ができたので、幹事校同士の連携はとても良かった。また、市P連事務局とも連絡を密にでき、不明な点について、相談するとすぐに対応してもらい感謝している。次年度の日程が早めに分ると助かる。それが決まらなないと、区P連の日程や会場確保ができない。遅くとも十二月中に分ると動きやすくなると思う。
- ・幹事会を三回行った。幹事会では前向きで活発な協議、話し合いが行われたため、総会や研究会などの運営をスムーズに行うことができた。

- ① 区P連研究会大会に関する区内での

- 引継ぎを、年度内にきちんとしておく。
- ② 市P連総会と連動した区P連総会の時期を見直す。
- ③ 関プロ大会等への参加について、区内で申し合わせる。
- ④ 区内の代表者会の持ち方について確認する。

- ・日P全国研究会大会、関プロ研究会大会の案内のチラシやパンフレットをPDFデータでいただけないか。区P連に所属する各校への案内がしやすくなるので検討いただけるとありがたい。

「会計・助成金に関わる反省・感想」

- ・区P連助成金が昨年より一〇万円減額となり、予算不足が心配された。昨年度の繰越金と江南区の各育成協議会からの協賛を得ることで、例年通りの規模で区P連研究会大会を実施することができた。
- ・計画的に執行することができた。講演会に比べ、フロアカーリング大会は会場費や講師謝礼も比較的安価で済むため、継続して実施することにした。昨年度に比べ、減額となったため、準備委員会の交通費と事務費を減額して、参加する人たちに喜んでもらえるよう取組んでいきたい。
- ・助成金の減額と繰越金の減少により、昨年度より二〇万円以上減額した予算でスタートした。支出を見直し、これまで業者に出していた印刷を自前で行うなど、大幅な支出削減を行った。手間はかかったが、会計面では有効な見直しであった。
- ・今年度はこれまでの繰越金が五〇万

- 円あったので、関東の方を講師にお招きするとともに、二十五名のアシスタントの方を招いての体験セミナーを開催することができた。他県から多くの方をお招きするというところもあり、前年度あまり経費の掛からなかった分、繰越したお金を使わせていただいた。このようにメリハリのある運営ができるとやりやすかった。
- ・市P連の助成金は、ほぼ研究会の実施のために使った。有効に使わせてもらえるので助成金ありがたい。今後も計画的に執行していきたい。
- ・予算から講演会を行う場合、十五万円前後で講師を招かなくてはいけない。そのくらいの予算で、呼ぶことができる講師リストがあると良いと感じた。区の会長・事務局長会議で関プロなどの研究会に参加した人に、できれば区でも補助を出してもらえないかという話があったが、区ごとに補助金がばらばらでは良くないと思う。各区で統一した補助金の目安を出してもらえるとありがたい。
- ・市P連からの助成金を有効に活用させていただき、大変有り難かった。当初の予定よりも講師謝礼と施設使用料が安くなったため、繰越金残高が多くなってしまった。
- ・研究会大会に対する市P連からの助成金がいくらなのか、正確な額が引き継がれていなかったため、予算書と大きくずれてしまう結果となった。
- ・市P連理事の役目として、理事会での情報を間違いなく次年度役員に引き継ぐ必要性を実感した。

「祝 白新中学校PTA 優良PTA 文部科学大臣表彰」

長年にわたりPTAの資質向上と活性化に努め、その成果が認められ、この度、白新中学校PTA「親学会」が文部科学大臣表彰を受賞し、去る十一月十九日、ホテルニューオータニにおいて表彰されました。

なお、日本PTA会長表彰（個人）として、本間文雄前事務局長が表彰を受けました。おめでとうございます。

平成二十八年度 主な事業予定

- ① 総会・年度初め研修会
期日 六月四日（土）午後二時
会場 ANAクラウンプラザH新潟
 - ② 専門部会別情報交換会
期日 六月二十五日（土）午後
会場 東京学館新潟高校（テルサ隣）
 - ③ 市P連研究会大会
期日 十一月二十六日（土）
会場 江南区文化会館
内容 i オープニング
ii 開会式
iii 実践発表
iv 講演会
 - ④ 広報紙セミナー（県Pと共催）
期日 六月十四日（火）午後
会場 じよいあす新潟会館
 - ⑤ 新潟市PTA交流会
期日 二月二十五日（土）午後
会場 ANAクラウンプラザH新潟
 - ⑥ 家庭教育フォーラム
- ※内容・日時未定(市教委との共催)